

よろくぶ通信

群馬県立玉村高等学校

発行日 2022.7.20

第58号

発行人 校長 田島 正徳

1 学期の主な学校行事

4月	始業式 入学式 新入生歓迎会 先輩からのアドバイス 二者面談 新入生オリエンテーション
5月	生徒総会・高校総体壮行会 高校総体 中間考査 地震避難訓練 PTA 総会
6月	璞玉祭 卒業生を囲む会 職業体験ガイダンス 期末考査
7月	花いっぱい運動 ビブリオバトル校内決勝 三者面談 終業式

入学式

4月8日、本校体育館にて入学式が挙行されました。入学許可された生徒80名を代表して戸矢梓さんが宣誓を行い、全員が決意を新たに、高校生活をスタートしました。

新入生入学後は様々な行事を通して、先生や先輩方から多くのアドバイスを頂き、学習や行事に励んでいます。



入学式

先輩からのアドバイス

璞玉祭(6/17)

3年ぶりに璞玉祭を実施しました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、6月17日に校内公開のみの開催となりました。クラス、学年、部活動、有志がそれぞれ思考をこらした企画が催され、校内公開ならではの盛り上がりを見せました。企画や準備、当日の運営など、生徒会を中心に各団体が協力して取り組むことができましたね。この経験を今後の学校生活に活かしましょう。



璞玉祭

コロナの感染状況に注意しつつ、1学期は通常にスタートすることができました。保健委員による毎日の注意喚起の放送を始め、生徒・保護者、すべての学校関係者それぞれが、コロナ感染防止対策に取り組んでくれたおかげだと考えています。2学期以降も、通常の学校生活が継続できるよう、引き続きご協力をお願いします。

さて、1学期を振り返ってみたいと思います。まず、始業式と入学式で、本校の「校訓：誠実・勇気・奉仕」と「学校教育目標：知性と品位を磨き、心身ともにたくましく、他人の痛みがわかる人材を育成する。～璞玉から珠玉へ～」に触れました。生徒にはそれを柱とした「学校を中心とした生活」を送ってほしいと話しました。

始業式が終わった後、校長室の前を通過したある生徒が、「新しい校長先生の話は、新入生に話すような内容だったよね。」と言いながら、廊下を歩いて行きました。これを聞いていた私は嬉しくなりました。始業式で2・3年生に話す内容としては、合っていなかったかな？と思った反面、在校生の中には本校の「校訓」と「学校教育目標」がしっかりと理解され、学校生活を送ってくれていると思ったからです。

その日の午後の入学式では、新入生全員が、緊張した面持ちで式辞をしっかりと聞いてくれました。その時だけでは理解できなかったかもしれませんが、先生方からの話や先輩方からのアドバイス、新入生オリエンテーション、生徒総会、他、学校生活のいたる場面で「校訓」と「学校教育目標」が出てきます。それを理解し、自分で体現できるようになってほしいと思います。また、新入生歓迎会では、生徒に「先輩を見習いなさい。ああいう先輩になりなさい。」といえる学校はいい学校です。本校の先輩は見習うべきいい先輩方であり、自分たちもああいう先輩になりたいと思ってほしいとも話しました。

5月には、生徒総会がありました。令和4年度の生徒会活動方針が以下のように提案され、可決されました。

- (1) 誠実：学校全員が気持ちよく生活できるように、周りを気遣う思いやりを大切にしよう。
- (2) 勇気：生徒1人1人がよりよい学校にする意識を持とう。
- (3) 奉仕：地域と交流、地域に貢献。

どれも素晴らしい提案です。今年度の生徒会活動が、より充実したものになることを願います。

群馬県高校総体も開催され、本校からは5つの部が出場しました。学校行事やコロナの関係もあり、なかなかすべての部の活動を見ることができないのですが、県総体はサッカー部の試合と予定が合い、観戦できました。結果からいうと沼田高校に0-7での敗戦でした。しかし、試合の最初から最後まで、サッカー部の部員はどんなに相手のディフェンスが厳しくても、1点を取りに行こうという気持ちを感じました。また、同じく、相手の攻撃が厳しくて得点されても、次の1点はやらないという気持ちで最後まで必死に走って守りました。得点差が大きくなってしまうと諦める気持ちが出てしまうものですが、全く、最後まで変わらずにボールを追いかける姿を見せました。立派な戦いでした。終了後に、「よく頑張った。負けたけど、胸を張っていいぞ。」と声をかけたら、爽やかな笑顔が返ってきました。サッカー部に限らず、壮行会で話した、勝ち負けよりも大切なものを、部活動を通じて得てほしいと思います。

そして、6月には「最高の笑顔をもう一度。～トライ璞玉祭～」をスローガンに璞玉祭が開催されました。残念ながら、一般公開まではできませんでしたが、日頃の学習成果を発表する場、そして、この日にしかできない展示や発表を行う場として、生徒は精一杯取り組んでくれたように思います。なかなか収束しない新型コロナウイルス感染症と共存する生活は、今後も続くと思われれます。そんな中で、工夫して自分達の生活を充実させる気持ちを、璞玉祭を機に、より強く持ってほしいと思いました。

最後になりますが、学校生活の楽しさとはなんでしょう。私が考える学校の楽しさは、「できなかったことが、できるようになること」だと考えています。だから、自分から挑戦しないと手に入らないし、他人は自分を本当に楽しくはしてくれません。うまくいかないことも多々あると思いますが、先生や友達の力を借りて、挑戦してみましょう。最初は失敗しても大丈夫、でも、次は成功するように頑張りましょう。自分の周りの小さなことからでいいのです。いままでよりも自分のできることが増えてくると自分に自信が持て、楽しくなってきます。そして、すぐにはわからないけれど、振り返るといつの間にか、「自分は成長したな」と感じる日がきます。そんな学校生活を、玉村高校で送ってほしいと思います。